

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関をはじめとする全ての空間が解放されている。身体拘束の無いケアを実践しようと、勉強会や状況確認を職員間で繰り返し行っているが、安全性の配慮から、ベットの四点柵を利用している。	家族等から安全の為の高速要望があった場合でも、園弊害を説明し、ホームで出来る工夫や取組指針を示し、家族等が納得の上で抑圧感の無い暮らしの支援	四点柵をなくして、ベットを低くして、落下しない様にした。	1ヶ月
2	33	ホームでの看取り支援を積極的に行っている。運営者は入居が決まった段階から、ホームが対応し得る最大のケアについて、利用者や家族に説明を繰り返して行っているが、文書化されたものは整備されていない。	重度化や終末期に対する方針の共有化を図る上でも、文書化された指針等の整備が行うこと	文書化された指針の作成をした。	1ヶ月
3	35	年に2回の火災想定訓練は、行っているものの、地震や水害等の災害に対する訓練が2年以上行われていない。	いざという時に慌てない実践的な取り組みになるように、あらゆる災害を想定した、地域住民参加型の防災訓練や避難訓練等を定期的に行うこと	勉強会にて、定期的に、するようにした。5月と10月の予定を組む	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。